

JAMS NEWS

Japan Association for Management Systems

日本経営システム学会 〒169-0073 東京都新宿区百人町1-20-3 バラードハイム703

日本経営システム学会 第43回全国研究発表大会のご案内

日本経営システム学会第43回全国研究発表大会は、平成21年11月28日(土)、29日(日)に、九州産業大学で開催されます。つきましては、多くの方のご参加をお願い申し上げます。

記

開催日：平成21年11月28日(土)、29日(日)

開催場所：九州産業大学

〒813-8503 福岡市東区松香台2-3-1

連絡先：九州産業大学 情報科学部 稲永 健太郎

TEL:092-673-5414 (直通) FAX:092-673-5454 (学部事務室)

E-mail:inenaga@is.kyusan-u.ac.jp

統一論題：「不況に立ち向かう経営システム」

基調講演：渡辺隆史 氏 (九州経済産業局) 「我が国経済の現状と九州における経済産業施策」

特別講演：河原成美 氏 (株式会社 力の源カンパニー) 「(演題未定)」

参加費：会員 5,000 円、非会員 6,000 円、学生会員 3,000 円 (当日支払いは 1,000 円高)

非会員の学生は当日支払いの学生会員と同額の 4,000 円

懇親会費：会員 5,000 円、非会員 6,000 円、学生会員 5,000 円 (当日支払いは 1,000 円高)

参加申込：次号 JAMS NEWS に同封の振込用紙にて、上記金額をお振り込みください。

発表申込：本 JAMS NEWS 10 頁の研究発表申込書に必要事項を記入の上、9月25日(金)まで(厳守)

に学会事務局宛に Fax. (03-3371-5185) して下さい。申込書ダウンロード、フォームによる

申込みは学会ホームページ <http://wwwsoc.nii.ac.jp/jams2/> からも出来ますのでご利用下さい。

発表原稿申込締切：10月30日(金)まで(厳守)、学会事務局宛

■発表申込み確認について

学会ホームページ上のフォームから発表申込みいただいた場合、48時間以内にデータの受領確認メールが届きます。もし受領確認メールが届かない場合、送信操作のミスやメールアドレス誤記入等のホームページ関連の問題が考えられますので、お手数ですが mimai@sozoac.jp までご連絡をお願いします。

■学会発表に関する原則について

当学会では、口頭発表に関して JAMS NEWS 2 頁 (<http://wwwsoc.nii.ac.jp/jams2/html/prerule.htm>) に示すような原則に従って運営しています。口頭発表を申し込まれる前に、ぜひご確認ください。

■大学院生の方へ (学生発表優秀賞について)

学生セッションでは、優秀な発表を審査して学生発表優秀賞を授与しています。大学院生であれば、正会員・学生会員に関係なく学生セッションにエントリーすれば審査の対象となります。ただし学生セッ

ョンの発表原稿は、会員の種別に関係なく2ページとなります。不明な点がございましたら、学会事務局へお問い合わせください。

大会会場へのアクセス：

- 地下鉄「福岡空港」駅から約5分、「博多」駅下車後、JR鹿児島本線に乗換
- JR鹿児島本線「博多」駅から上り普通電車で約15分、「九産大前」駅下車
- 西鉄バス「天神バスセンター」(1番のりば)から都市高速経由で約15分、「産業大学南口」下車



学会発表に関する原則について

当学会では、研究発表大会をスムーズに運営するために、口頭発表に関して次のような原則に従って運営しています。口頭発表を申し込まれる前に、ぜひご確認ください。なお、この原則は、大会委員会および大会実行委員会により運用されます。不明な点がございましたら、学会事務局へお問い合わせください。

1. セッションの種類と発表の資格

一般セッションでは、正会員だけが口頭発表できます。学生セッションは、大学院生であれば、正会員・学生会員ともに口頭発表できます。

2. 学生会員の発表条件

学生会員は正会員と連名でなくては、どのセッションでも発表できません。

3. 連名者の資格

研究発表の連名者は、全員会員でなくてはなりません。また、大会当日は、連名者も大会に参加することを原則とします。

4. 発表件数の制約

同一のファースト・オーサーによる研究発表は、3件目からは1件あたり5,000円を徴収します。

5. 口頭発表者の参加費支払い

口頭発表者は、発表原稿の提出時に参加費を支払うものとします。

6. 参加費の返還について

既納の参加費は、理由のいかんを問わず返還しませんのでご注意ください。

7. 発表のキャンセルと無断欠席

大会直前に発表キャンセルや無断欠席をされた場合には、次回以降の発表をお断りすることがありますので、十分ご注意ください。

第 15 期の会長に就任して

日本経営システム学会 第 15 期会長 松丸 正延

このたび、平成 21 年 5 月 23 日付けで日本経営システム学会の会長に就任しました。よろしくお願いたします。

さて、本学会は昭和 56 年 4 月 29 日（1981 年 4 月 29 日）に経営労働学会として設立されました。時代の変革に伴い、絶えず未来志向的な姿勢で企業経営の諸問題をとらえ、経営学、経営工学、システム工学などを基礎に経営システム分野の研究を進め、平成 4 年（1992 年 4 月）に学会名を経営システム学会に改称しました。経営活動を的確に運営する総合的な方法・戦略などの科学的な知識体系を構築し、企業経営の健全な発展に寄与する研究をする文系、理系の枠にとらわれない文理融合の学術団体として発展を続け、今日では 630 名の学会員が参加し、研究発表の活動を行っています。会長就任に当りさらなる学会の飛躍を目指して積極的な活動を展開していきたいと考えております。

(1) 研究論文の量と質の向上の加速化

まず、研究論文の量と質の向上の加速化を行いたいと考えます。学会として最も重要な使命は、学術研究の推進です。学術研究成果の発表の場としての年 2 回の学会誌の発行と年 2 回の研究発表大会は、学術振興の大きな役割を果たしています。近年、グローバル化の波は、学術研究にも押し寄せ、世界的な「知」の競争時代に突入し、学会誌におきましても国際的な評価の格付けが行われ始めております。日本を除く東アジアの社会、人文科学におきまして、大学や研究機関で Citation Index をはじめとする米国主導の「知」の格付けシステムの利用が進んでおります。昨年台湾で台湾版 SSCI(TSSCI)が発足し、台湾内の学術研究誌の格付けが行われ始めています。したがって本学会誌を Thomson Scientific の ISI Web of Science に収録されるための準備も必要と考えます。現在、IJAMS の編集作業が進捗しておりこの秋には刊行される予定です。まずは、IJAMS を国際的 SSCI に収録されるための準備をしたいと考えます。審査がありますので、収録にいたるとは限りませんが努力をしてみたいと考えます。また継続して IJAMS の刊行をしていきたいと考えます。この IJAMS への投稿には、国内だけでなく韓国、台湾、香港(中国)などの東南アジア圏からの投稿もできるようにして、国際的なジャーナルに育てて生きたいと考えます。したがって、投稿規則やレフェリー規則などの見直しも必要かと考えます。たとえば、レフェリー委員として海外の方にも参加していただいてレフェリーをしていただくというのも良いのかというようにも考えています。このレフェリーを機会として会員になっていただくこともあると考えられますので、規則の見直しや、国際的な学会員の扱いも検討していきたいと考えます。一方、これまで刊行してきました学会誌につきましては、独立法人科学技術振興機構の J-Stage などへの収録の準備をしたいと考えます。こちらも審査がありますので、収録にいたるとは限りませんが努力をしてみたいと考えます。当然のことながら、これらの活動は皆様のご理解やご協力がなければ実現できません。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

(2) 研究成果の人材教育への還元の加速化

つぎには研究成果の人材教育への還元を加速化を考えています。現在の経済不況克服の鍵は、人材教育にあると考えます。近年、ますます世界における国家間の競争激化は加速しておりますが、国家間の競争は、企業間の競争であり、組織の競争であり、組織を構成している個人間の競争です。この個人を強くするためには、人材教育が大切です。この人材教育は日ごろの我々の研究を切磋琢磨し、より良い研究成果を挙げて教育に還元しこの教育を通じて、人材教育をしていくことであると考えます。研究を活性化すればそれに伴い多くの研究成果が得られますので、より多くの研究成果を人材教育に還元できるというサイクルを活性化できます。学会としてこの人材教育にどのように関与するかということ言えば、研究発表の場を多く提供し研究の促進を行うことでもあります。具体的には、学会誌の発行回数の増加、IJAMS（英文学会誌）の継続刊行、研究大会および研究会の活発化です。特に次世代を担う若手研究者の研究の促進に力をそそぎたいと思います。当学会は学生発表セッションを早くから設けるなど、早くから若手研究者の研究の促進に力を注いできましたが、これをもっと加速化させたいと考えます。

いま申し上げます「研究と教育」に関連しますが、先日の 5 月 4 日の朝日新聞の朝刊に「中国の高等教育事情」という記事が掲載されておりました。この記事によりますと、中国では、「科教興国」（科学と

教育で国を興す)を掲げており、「世界の工場」から「世界の頭脳」への道をめざしてあゆみ始めているということです。日本におきましても、「科教興国」は同じです。また学会におきましても、「科教興国」という研究の活発化と研究成果の人材教育への還元で学会を活性化することによって変わりはありません。先ほど申し上げました「知」の世界競争時代に突入しておりますが、「研究論文の量と質の向上の加速化」と「研究成果の人材教育への還元の加速化」を推進していきたいと考えます。

(3)学会ホームページ (Web Site) の英語表示

グローバル化の進展に伴い学会の対策のひとつは、学会ホームページ (Web Site) の英語表示です。また、上記の IJAMS の投稿も学会ホームページ (Web Site) からできるような対応も必要かと考えます。さらには、学会案内のパンフレットの英語表示も推進していく必要があるかと思っておりますので、検討をしていきたいと考えます。

(4)一般社団法人化と公益社団法人化の検討

現在は任意団体であります。将来に向けて公益法人を目指したいと考えます。公益社団法人に移行する場合も、必ず一般社団法人を設立してから、公益社団法人に移行しなければなりませんので、まずは一般社団法人化を目指したいと考えます。検討を進めていきたいと考えます。

(5)規定・規則の整備

上記の一般社団法人化と公益社団法人化の検討に関連して、学会の規定・規則の整備も推進していきたいと考えます。当初、申し上げましたように、当学会は昭和 56 年 4 月 29 日 (1981 年 4 月 29 日) に設立され、平成 23 年 4 月 29 日 (2011 年 4 月 29 日) には、学会創立 30 年を迎えます。これまでも必要に応じて規定・規則の見直しはしてきましたが、一般社団法人化と公益社団法人化の検討を機会に見直しを推進したいと思っております。この規定・規則の整備に関連しまして、現在の評議員会を組織化するのも良いかと考えます。関連する委員会を中心に検討をしていきたいと考えます。

以上、会長就任に当たりまして、上記のような活動を推進していきたいと考えておりますが、委員会を中心とした学会員皆様のご協力なしにはこれらの実現はありえません。ぜひ、学会員皆様のご協力とご支援をお願いいたしまして、会長の就任のご挨拶とさせていただきます。

第 42 回全国研究発表大会の報告

大会実行委員長 佐々木 桐子

日本経営システム学会第 42 回全国研究発表大会が、2009 年 5 月 23 日 (土)、24 日 (日)、新潟国際情報大学で開催されました。今回は「経験による地域創造 - 新潟における教訓と課題 -」という統一論題のもと、127 名の方が参加され、統一論題 3 件、一般 30 件、部会 2 件、学生 18 件、合計 53 件の発表があり、各会場では活発な議論・意見交換が行われました。

初日は、基調講演として平山征夫新潟国際情報大学学長による『市場主義の行き詰まりと地域企業の新たな役割』、特別講演として原信ナルスホールディングス株式会社 常務取締役 山岸豊後 氏による『地元スーパーにとっての中越地震、中越沖地震とその後の災害対策』のご講演が行われました。またその日の懇親会にも 67 名のご参加いただき、親睦を深めることができました。

「新型インフルエンザ」の影響で、同時期の学会が延期や中止を決定する中での本大会の開催ではありましたが、松丸 正延会長をはじめ、参加された皆様方のご尽力・ご理解・ご協力のもと、本学での研究発表大会を無事終了することができました。この場をお借りしてお礼申し上げます。ありがとうございます。

JAMS 学生研究発表優秀賞について

表彰委員長 田畑 智章

平成 21 年度第 42 回全国研究発表大会（於：新潟国際情報大学）終了後、表彰委員会を開催し、司会者のご意見を聴取しながら慎重に表彰候補者を選考いたしました。その後、理事会の審議を経て下記の 2 名が学生研究発表優秀賞に決定しましたのでご報告いたします。

1. 「戦略概念の再検討－実践としての戦略論をつうじて－」

今井 希（神戸大学）

2. 「パークアンドライド併用の観光地バス駐車場における離散系シミュレーション解析」

佐久間 勇行（福島大学）

平成 20 年度第 4 回理事会のまとめ

- I. 開催日時：2009 年 3 月 5 日(木) 17 時 30 分～19 時 00 分
- II. 開催場所：八重洲倶楽部 第 11 会議室
- III. 出席者：能勢、石井、小田部、島田、浅井(重)、金子、木全、高橋、立川、田畑、常田、林、松岡、三藤、石原、上原、小田、中西、西口、野々山、羽田、松丸、椎原
監事)杉田 オブザーバー) 浅井(達)、石田、佐々木 (敬称略)
- IV. 報告事項
- 2008 年度第 3 回理事会の議事録の確認(椎原)
配付資料の通り説明され報告された。
 - 他学会への協賛について(椎原)
配付資料の通り 3 団体からの依頼があり、承諾したことが報告された。
 - 第 41 回研究発表大会について(石田)
配付資料の通り報告され承認された。参加者数は 164 名であり、剰余金 182,736 円が学会に寄付された。
 - 学生研究発表優秀賞について(浅井(重))
電子メールによる審議により、配付資料の通り 2 名の学生を表彰することが決まった。表彰状は、すでに送付済みである。
 - 役員選挙と会長選挙の結果について(松岡)
役員選挙の開票プロセスが説明され、配付資料の通り常任理事と会長の選出が行われた。次期会長には、松丸正延先生が選任された。
 - 会員用メーリングリストについて(椎原)
配付資料の通りメーリングリストの設定が変更された。今後は広報委員長に許可されたものだけが、メーリングリストに投函できることになった。
 - IJAMS ニュースの編集状況について(石井)
配付資料の通り 18 編の投稿があり、査読中であることが報告され了承された。
 - 経営関連学会協議会理事会と評議員会について(野々山)
配付資料の通り、第 8 回理事会と第 5 回評議員会、講演会、交流会の開催について報告があった。役員交代選挙についても報告された。
 - 学会予算の執行状況について(田畑)
配付資料の通り報告された。

V. 審議事項

1. 第 42 回研究発表大会について(佐々木)
配付資料の通り、大会までのスケジュールや会場の配置などについて説明がなされ了承された。また学生発表については、社会人であっても原則として所属大学名を使用することになった。ただし、大会委員会が認めた場合には、企業名も併記できることが了承された。
2. 第 43 回研究発表大会について(立川)
九州産業大学での大会開催日を 11 月 28・29 日とする提案があり承認された。
3. 総会の資料作成について(椎原)
各種委員会の委員長に対して、委員会の活動経過と来期の具体的推進を 3 月 30 日までにご提出いただけるように依頼された。正式な依頼は、事務局より発送済みである。
4. 平成 21 年度予算案について(田畑)
各種委員会の委員長に対して、次年度の予算案を 3 月 30 日までにご提出いただけるように依頼された。正式な依頼は、事務局より発送済みである。
5. 第 3 回横幹連合コンファレンスについて(能勢)
配付資料の通り企画について説明された。学会としてコンファレンスの運営に協力することが承認された。
6. 横幹連合の代議員について(羽田)
横幹連合より次期の代議員の推薦依頼があった。そこで、現在、横幹連合の編集委員を担当していた金子先生を推薦することが承認された。
7. 国際会議の共同開催について(能勢)
配付資料の通り第 2 回世界会議の企画について説明された。内容がまだ明確でない部分もあり、主催者との交渉を継続することが承認された。
8. 会員の入退会について(椎原)
配付資料の通り説明があり承認された。これにより正会員が 517 名となり、学生会員 128 名と賛助会員 1 社を併せて会員数が 646 名になったことが報告された。また会員の入会は理事会での承認後であることが確認され、入会日は申し込み日となった。ただし、次年度への入会希望者については次年度の 4 月 1 日となるが、統計上は今年度の正会員として計算する。

平成 20 年度第 5 回理事会のまとめ

- I. 開催日時：2009 年 4 月 24 日(木) 17 時 00 分～19 時 30 分
- II. 開催場所：明治大学 駿河台校舎 研究棟 4F 第 2 会議室
- III. 出席者：能勢、島田、浅井(重)、今井、金子、木全、立川、田畑、常田、林、松岡、三藤、石原、上原、小田、佐藤、西口、野々山、羽田、松丸、山下、山田、椎原 監事)杉田 (敬称略)
- IV. 報告事項
 1. 2008 年度第 4 回理事会の議事録の確認(椎原)
配付資料の通り説明され報告された。
 2. 第 3 回横幹コンファレンスについて(能勢)
配付資料の通り説明があった後に、コンファレンスでの発表が要請された。会長から学会役員に対して、直接、依頼するのでご協力をお願いしたいとのことであった。
 3. 経営関連学会協議会(野々山)
配付資料の通り、理事会・評議員会・講演会の開催について報告された。新役員が決定したことも報告された。
 4. 学会賞・論文奨励賞について(浅井(重)・金子)
学会誌に掲載された論文を検討したが、今年度は残念ながら該当する論文がなかったと報告された。
 5. IJAMS の編集状況について(椎原)
審査状況が配付資料の通り報告された。
 6. 次期役員について(松丸)

配付資料の通り、学会役員・評議員・各種委員会委員の案が提案され了承された。島田先生と西山先生には、名誉会員になっていただくことが了承された。今後の追加・修正等については、新会長に一任されることになった。

7. 研究部会の案内について(今井)

研究部会の開催を Web ページにアップするので、開催案内のメールを広報委員会に連絡をいただけるように依頼された。また、過去の分についても掲載するので、協力が要請された。

V. 審議事項

1. 第 42 回全国研究発表大会について(立川)

配付資料の通り、大会プログラムや大会の準備状況について説明され承認された。広報委員会より発表申し込みの受け付けにトラブルがあったことが報告され、今後、その改善を図ることになった。

2. 第 43 回研究発表大会について(立川)

九州産業大学での大会開催日は 11 月 28・29 日である。統一論題や記念講演、基調講演、実行委員等について配付資料の通り説明がなされ、実行委員会に一任されることになった。

3. 第 30 回通常総会議案書について(椎原)

総会の議案書(案)の内容について、議案ごとに審議し修正を行った。最終的な議案書は会長に一任されることになった。

4. 総会での役割分担について(椎原)

総会運営に必要な司会者、議長、議事録署名人(2名)、書記(2名)の候補者を選定した。また、第 1・3 号議案の説明は椎原総務委員、第 2・4 号議案の説明は田畑財務委員長、監査報告は杉田監査が担当することになった。

5. 平成 20 年度決算・21 年度予算(田畑)

配付資料の通り予算と平成 20 年度決算と平成 21 年度予算について説明され了承された。そして、平成 20 年度の剰余金のうち 80 万円は基金に繰り入れることが提案され承認された。さらに、学会創立 30 周年記念事業のために特別会計を設置して、そこへ 50 万円を繰り入れることも了承された。また総会で予算が成立すれば、支部交付金や研究部会の補助金を執行できることが確認された。

6. 日本経済学会連合への国際会議派遣補助申請について(椎原)

日本経済学会連合から国際会議の派遣補助の案内が届いている。当学会から申請したことがないので、今回は会長を派遣する申請を行うことが了承された。

7. 会員の入退会について(椎原)

配付資料の通り説明された。住所不明による除籍予定の 3 名については、慣例に従って様子を見ることが了承された。これにより正会員は 504 名となり、学生会員 119 名と賛助会員 1 社を併せて会員数が 624 名になった。

平成 21 年度第 1 回理事会のまとめ

I. 開催日時：2009 年 5 月 23 日(土) 11 時 45 分～12 時 40 分

II. 開催場所：新潟国際情報大学 6F 会議室

III. 出席者：松丸、小田、羽田、浅井、浅井、石原、上野、奥原、塩出、田畑、西口、野口、野々山、林、山下、石田、泉井、板倉、今井、金子、木全、佐藤、下左近、高橋、立川、寺本、常田、松岡、宮下、山田、椎原 監事)杉田 オブザーバー)能勢、島田、佐々木、稲永 (敬称略)

IV. 報告事項

1. 2008 年度第 5 回理事会の議事録の確認(椎原)

配付資料の通り説明され報告された。

2. 第 42 回全国研究発表大会について(佐々木)

大会の準備状況について報告があった。

3. 第 31 回通常総会議案書について(椎原)

総会の議案書の最終案が、配付資料の通り提示され了承された。

4. 学会役員・各種委員会委員・評議委員について(椎原)
配付資料の通り報告され了承された。また、各種委員会に委員を追加する必要がある場合には、会長に連絡することが要請された。
 5. 他学会への協賛について(椎原)
配付資料の通り2件の依頼があり、協賛に応じたことが報告された。
 6. 評議員会について(椎原)
理事会に先立って開催された評議委員会について報告があった。評議員の役割と総会の議案書の内容について説明し了承を得た。また、学会運営に対する評議員からの要望について議論を行ったことが報告された。
- V. 審議事項
1. 第43回全国研究発表大会について(稲永)
九州産業大学にて2009年11月28日・29日に研究発表大会の開催が予定されている。この計画案が、配付資料の通り説明され了承された。そして基本的な事項については、実行委員会に一任されることになった。また、大会委員会や広報委員会、表彰委員会と連携をとりながら準備を進めることが要請された。
 2. 電子メールによる審議について(椎原)
2005年度の理事会にて提案された電子メールの審議について、配付資料の通り説明があった。今期の理事会でも、この審議方法を継続して認めることが承認された。
 3. 会員の入退会について(椎原)
配付資料の通り説明され了承された。これにより正会員は509名となり、学生会員111名と賛助会員1社を併せて会員数が621名になった。
 4. 経営関連学会協議会の評議員について(松丸)
経営関連学会協議会から評議員の推薦依頼があった。そこで、野々山先生と立川先生に継続してお願いすることが提案され了承された。

経営モデル研究部会のお知らせ

開催日予定日時：2009年9月26日(土) 15:00-17:00

開催場所：早稲田大学 14号館 10F 1060号室

校舎の地図は下記 URL にあります。

<http://www.waseda.jp/jp/campus/waseda.html>

発表予定者：ガムヤティ ワッチャラボン (東海大学大学院)

「Construct the cellular manufacturing system by using Ant Colony Optimization

(仮)」

連絡先：田畑 智章 (東京富士大学) Tel.03-3368-2154 E-Mail:tabata@fuji.ac.jp

金子 勝一 (山梨学院大学) Tel.055-224-1337 E-mail:shoichi@ygu.ac.jp

ヒューマン・リソース研究部会のお知らせ

開催日予定日時：2009年10月17日(土) 15:00-17:00

開催場所：日本大学 生産工学部 30号館 5F 小田部研究室

発表予定者：未定

連絡先(幹事)：金子 勝一 (山梨学院大学) Tel.055-224-1337 E-mail:shoichi@ygu.ac.jp

入会者リスト

(2008. 12. 7～2009. 5. 23)

1. 正会員入会者

| 氏名 | 所属 | 氏名 | 所属 |
|-------|-----------|--------|------------|
| 小山 秀夫 | 千葉大学 大学院 | 菊地 智美 | 明治大学 大学院 |
| 石川 弘道 | 高崎経済大学 | 古山 滋人 | 長崎総合科学大学 |
| 関川 弘 | 高崎経済大学 | 今井 希 | 神戸大学 大学院 |
| 長平 彰夫 | 東北大学 大学院 | 深澤 琢也 | 東京富士大学 |
| 小路 和幸 | 早稲田大学 大学院 | 角田 美知江 | 北海学園大学 大学院 |
| 三原 康司 | 早稲田大学 | 奥林 康司 | 摂南大学 |
| 立石 文雄 | オムロン(株) | 小田 哲明 | 大阪大学 |
| 南 憲一 | 嘉悦大学 | 趙 達峰 | 九州産業大学 |
| 矢寺 颯行 | 神戸大学 大学院 | | |

2. 学生会員から正会員に変更

| 氏名 | 所属 | 氏名 | 所属 |
|-------|----------|---------------|------------|
| 小島 愛 | 立命館大学 | 堂本 絵理 | 広島経済大学 大学院 |
| 村山 賢哉 | 明治大学 大学院 | カト フェ エイメイ セロ | |
| 松井 猛 | 広島大学 大学院 | 佐藤 茂 | NTT 東日本 |
| 小野 浩之 | 千葉工業大学 | | |

3. 学生会員入会者

| 氏名 | 所属 | 氏名 | 所属 |
|-------------------|-----------|-------|------------------|
| 熊谷 和俊 | 早稲田大学 大学院 | 松田 成哉 | 英国国立ウエールズ大学経営大学院 |
| 高田 浩基 | 早稲田大学 大学院 | 川口 拓哉 | 関西大学 |
| 内藤 瑛子 | 早稲田大学 大学院 | 中川 佳子 | 摂南大学 |
| Noguera Stephanie | 長岡技術科学大学 | 辻 幸二 | 英国国立ウエールズ大学経営大学院 |
| 吉田 寛子 | 長岡技術科学大学 | 張 鶴 | 関西学院大学 |
| 境 耕佑 | 早稲田大学 | 江口 彰 | 早稲田大学 大学院 |

受付番号

日本経営システム学会 研究発表申込書

平成 21 年度 第 43 回全国研究発表大会

発表種類 (研究、部会) (発表種類のいずれかを○でお囲み下さい)

発表セッション区分 (一般セッション、学生セッション) (区分のいずれかを○でお囲み下さい)

口頭発表者会員種別 (正会員、学生会員) (会員種別のいずれかを○でお囲み下さい)

会員連絡先

| | | | |
|-------------|-----|-----|--------|
| 会 員 名 | | | |
| 所 属 | | | |
| 住所 (勤務先・自宅) | 〒 | | |
| 連 絡 先 | TEL | FAX | E-mail |

論題および発表者

| | | |
|----------------------|----------|--------------|
| 論 題 | | |
| ふりがな 発表者氏名 (所属) | 1 () | 2 () |
| 当日の口頭発表者には*を付す | 3 () | 4 () |
| 研究部会名 (研究部会発表の場合) | | 代表者名: () |

発表要旨 (200 字以内・ワープロプリント貼付可)

| | | | | | |
|-----------------|--|--|--|--|--|
| | | | | | |
| キーワード (必ず記入) | | | | | |

注: 1) 大会プログラムは、この申込書のキーワードおよび発表要旨により編成いたします。

2) プログラム、論文集目次の論題および口頭発表者・連絡者は申込書の記載どおりに掲載いたしますので、明確に楷書にてご記入下さい。(ワープロプリント貼付可)

3) 論文集原稿締切日までに間に合わない場合は、プログラムに掲載され、発表時間も確保されておりますが発表取り消しとしますので、ご了承ください

日本経営システム学会

住所 〒169-0073 東京都新宿区百人町 1-20-3 パラードハイム 703

TEL03-3371-5324・FAX03-3371-5185

E-Mail:keieisys@hh.ij4u.or.jp http://wwwsoc.nii.ac.jp/jams2